

ファイザー

公募型医学教育プロジェクト助成

転移・再発乳癌の治療環境向上に 繋がる若手教育、専門知識や治療 およびケア環境の地域差の解消



本公募の概略

この公募では、転移・再発乳がんに関する若手医療従事者向けの医学教育プロジェクトを募集します。



対象国

日本



対象疾患 / 目的

- 医療関係者の進行再発乳がん領域に関する専門知識や治療およびケアの環境の地域差等の格差解消につながる教育プログラムや標準治療への環境整備の推進のための取り組み
- 若手医療関係者を対象とした進行再発乳がん領域に関する専門知識や治療の認知向上につながる教育プログラムや取り組み
- リアルワールドエビデンスに関する知識や理解を深めることで進行再発乳がん治療のより良いアウトカムへの貢献を目的とする教育プログラム
- Patient-Reported Outcome (PRO)をはじめとする患者中心医療に関連する尺度の理解の促進を目的とする教育プログラム



締切日等 スケジュール

- 公募締切日: 2024年7月2日
- 審査結果通知: 2025年10月
- 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2025年1月1日



助成額 / プロジェクト実行期間

- 1件あたりの上限額: 4,000,000円
- プロジェクト実行期間: 2025年1月～2026年6月(1年半)

I. 応募資格

対象国:

- 日本

申請団体要件:

- 法人格を有した以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することは認められません。
 - 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
 - 医療系の学会・研究会など
 - 医療系の財団法人、NPO 法人など
(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など)
 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会
- 他施設・団体と協業するプロジェクトの場合、役割分担が明確であり、特に申請を行う施設・団体が最も重要な役割を担うこと。
- 各所属施設・団体から事前に承認を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日:

- 2024年4月24日

公募対象疾患:

- 転移再発乳がん

本公募の目的:

乳がんは女性での罹患数が最も多いがんであり、比較的予後が長い癌として知られていますが、転移・再発乳がんの予後は、サブタイプによって異なり、ホルモン受容体とHER2 状況により治療方針が大きく異なります¹⁾。乳癌診療ガイドラインにおいて、ホルモン受容体陽性HER2 陰性の進行再発乳がんに対して内分泌療法とCDK4/6 阻害薬の併用が標準治療として強く推奨されています^{1,2,3)}。しかしながら、2017年にCDK4/6 阻害薬が承認されて以来、実臨床での処方実態に基づきリアルワールドエビデンスも蓄積されてきたものの、未だに転移・再発乳がんの治療環境に地域格差が存在すると考えられています。

また若手医師も乳がんに関する経験を積む機会が限られており、特に地方の若手医師には、都市部と比較して経験豊富な医師との交流や勉強会等の機会が少ないという課題も考えられます。

このような状況下で、地域格差の均てん化と若手医師の教育を推進するための支援が必要と考えられます。

本公募では、進行再発乳がんの治療環境向上に繋がる、以下の課題に取り組む教育プロジェクトを募集します。これらはあくまで指針であり、下記の課題以外に該当する申請も歓迎します。

- 医療関係者の進行再発乳がん領域に関する専門知識や治療およびケアの環境の地域差等の格差解消につながる教育プログラムや標準治療への環境整備の推進のための取り組み
- 若手医療関係者を対象とした進行再発乳がん領域に関する専門知識や治療の認知向上につながる教育プログラムや取り組み

- リアルワールドエビデンスに関する知識や理解を深めることで進行再発乳がん治療のより良いアウトカムへの貢献を目的とする教育プログラム
- Patient-Reported Outcome (PRO)をはじめとする患者中心医療に関連する尺度の理解の促進を目的とする教育プログラム

教育プロジェクトの形式はイベント、サテライトシンポジウム、ハンズオンセミナー、ワークショップ、オンラインコース、印刷物、デジタルツールなどが考えられます。

注意事項: 介入試験、臨床試験、非臨床試験、疫学分析などの研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また、COIの観点より、診療ガイドラインやガイダンスの作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

教育プロジェクトの対象者(受講者):

- 医師、看護師、薬剤師、検査技師、その他の転移・再発乳癌の検査・診断・治療・包括的ケア・社会的サポートに携わる医療従事者
- * 対象者が「患者のみ」の教育プロジェクトは、本公募の対象外です

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額: 4,000,000 円

スケジュール:

- 公募開始日: 2024 年 4 月 24 日
- 公募締切日: 2024 年 7 月 2 日 (アメリカ東部時間)
- 審査結果通知: 2024 年 10 月
- 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。
- 助成金を使用したプロジェクトの実行期間: 2025 年 1 月~2026 年 6 月

申請方法:

- 応募は当社ウェブサイトから電子申請にて受け付けます。ファイザー米国本社のシステムより申請をお願いします。https://www.cybergrants.com/pls/cybergrants/ao_login
- 「申請ページ」より「Create your password」にアクセスし、メールアドレスの登録及びパスワードの取得を行ってください。手続き方法の詳細は「[登録手続ガイド](#)」を参照ください。
- 登録済みのメールアドレス/パスワードにて「Welcome Page」にログイン後、申請に必要な情報の入力、及び資料を添付してください。申請は全て英語で入力頂きます(添付資料のみ日本語可)。
- 申請方法の詳細は [Independent Medical Education Grants 申請の手引き](#)を参照してください。
 - 「Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?」の設問では「Yes」を選択してください。
 - 「Competitive Grant Program Name」では、今回応募した「2024 ONC JP Improving the Therapeutic Environment for Metastatic Breast Cancer」をプルダウンメニューから選択してください。
 - Primary Area of Interest では「Oncology -Breast- IME」を選択してください。
 - Letter of Request/Agenda/Project Description(プロジェクト申請書)では、公募要項に記載されたプロジェクト申請書様式をご参照の上、書類を Word 等で作成し、アップロードしてください。**プロジェクト申請書のみ日本語での記載が可能です。**

注意事項: 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー株式会社 MEG-J 事務局 (meg.japan@pfizer.com) までメールにてお問い合わせください。
- お問い合わせの際、件名に「転移・再発乳癌の治療環境向上に繋がる若手教育、専門知識や治療およびケア環境の地域差の解消」をご記載ください。

助成契約:

- 助成が決定された後、Pfizer International LLC.との間で助成契約を締結します。契約が締結されない場合は、助成を承認することは出来かねます。主要な契約条件は[こちらのページ](#)に記載しています。
- 契約条件は当社と申請団体の双方の意思・目的を合致させるという目的に基づき策定されております。助成金契約の手続きには多大なリソースが必要ですので、申請前に所属施設・団体（法務部門を含む）が、契約条件を遵守できることを必ずご確認お願いいたします。
- 本公募はファイザーによって助成支援されます。採択となりましたら、助成金は米国より送金されます。
- 助成金は申請施設の口座にのみ送金可能です。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、ファイザーが最終的な助成金決定を行うために審査します。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます(中間報告)。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容(プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど)に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。

リファレンス

- 1) The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for systemic treatment of breast cancer, 2022 edition
- 2) Gennari, A et al. “ESMO Clinical Practice Guideline for the diagnosis, staging and treatment of patients with metastatic breast cancer.” Annals of oncology : official journal of the European Society for Medical Oncology vol. 32,12 (2021): 1475–1495. doi:10.1016/j.annonc.2021.09.019
- 3) Al Sukhun, Sana et al. “Systemic Treatment of Patients With Metastatic Breast Cancer: ASCO Resource-Stratified Guideline.” JCO global oncology vol. 10 (2024): e2300285. doi:10.1200/GO.23.00285

ファイザー Global Medical Grants について

ファイザー Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内になされる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“ナレッジギャップ”を埋めることができるような教育プロジェクトの立案をしてください。

教育プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

プロジェクト申請書様式

表紙にはプロジェクトタイトル、作成日及びバージョンを記載してください。本申請書は、日本語での記載が可能です。

プロジェクトの背景・目的

- プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。
- 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

プロジェクトのニーズ評価

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)

プロジェクト対象者(受講者)

- プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

プロジェクトプラン・スケジュール

- プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
- プロジェクトの詳細なスケジュールを記載してください。(表形式が望ましい)

プロジェクトの評価・結果の測定

- ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。
 - 判定に使用するデータソース
 - データの収集・分析方法
 - 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例: ベースラインから 10%上昇する)

プロジェクトの画期性

- 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

プロジェクト終了後の展開

- プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。

その他、プロジェクトに関する追加情報

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

次頁へ続く

申請団体・プロジェクトメンバー

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- プロジェクトメンバーを記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。

予算明細

- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。費用の明細を記載ください。(表形式が望ましい)
ただし、弊社からの助成金は以下費目には使用できません。
 - 医薬品の購入
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など)、テキスト・教科書の購入
- 施設へのオーバーヘッド(間接費用)は、プロジェクト費用の28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。
- 消費税込みで記載してください。